実務に活かせる医療事故調査制度研修会
制度の要点を整理し いざという時の判断と対応に備える

2026年度 医療事故調査制度 適切な対応・事例検討研修会

厚生労働省「医療事故に係る適切な対応に関する研修」に該当

「医療事故調査制度に関する管理者等研修プログラム作成指針」に準拠したプログラム

開催日

第1・2回はご好評につき募集終了！

追加開催

第１回　~~2026 年 7 月26日(日)~~
第２回　~~2026 年 9 月 5 日(土)~~
第３回　2026 年12月20日(日)
第４回　2027 年 2 月11日(木・祝)
09：30～17：00
※各回、開催時間・内容は同じになります（予定）。

会　場

（公社）全日本病院協会
〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町1-4-17
東洋ビル11F
※会場アクセス用QRコード

対象者

病院等の管理者、管理職、医療安全管理者、死亡事例の判断に携わる方など

参加費

会　員※　24,200円(税込)
非会員　　28,600円(税込)
（受講料、テキスト代を含みます。）
※会員病院職員も「会員価格」になります。

定　員

各回70名

申込締切

第３回　2026 年11月20日(金)
第４回　2027 年 1 月 8 日(金)
※各回、定員に達し次第、締切となります。

※医療事故調査に関してお困りの点等がありましたら、事前アンケートで予めご連絡ください。研修時にできる限り回答いたします。

お申込み・研修詳細はこちら→

こんな方におすすめ

- 「医療に起因する」「予期しない」の判断基準を整理したい方
- 報告対象に該当するのか判断に迷うことがある方
- 医療事故発生時の初動対応と院内事故調査の進め方を確認しておきたい方
- 管理者としての適切な組織対応を改めて整理・学びたい方



研修内容（予定）

【事前学習】

①講義WEB動画視聴（2時間）

- 医療事故調査制度の概要
- 医療安全の目標　医療安全に関する施策
- 医師の立場から考える医療安全を支える組織作り
- 医療安全管理者の立場から実務的な運営について【仮】
- 事務の立場から医療安全活動への関わり方について【仮】
- 医療事故調査制度ー理解しておくべき法的視点ー

②提出課題（20事例程度）

- 死亡事例における報告事例かどうか等の判断
  ― あなたならどう考える？報告対象か考えてみよう ―

【当日（グループ討議中心）】

①講義

- 医療事故に対する適切な準備と事後対応
- 事故発生時の初動対応等について （患者・家族、マスコミ対応等含む）【仮】

②グループワーク

- 事故調査の考え方／方法の検討
  ― 院内事故調査で迷わないための「心構え」と「外してはいけないポイント」を整理してみよう ―
- 死亡事例における報告事例かどうかの判断
  ― この死亡事例は報告対象？みんなで考えよう ―

③総合討議

【問合先】（公社）全日本病院協会　E-mail：jikocyousa@ajha.or.jp

全日病発 第98号
2026年6月22日

各 位

公益社団法人　全日本病院協会
会　長　神　野　正　博
医療安全・医療事故調査等支援担当委員会
委員長　今　村　康　宏

2026年度「医療事故調査制度 適切な対応・事例検討研修会」追加開催のご案内（全2回から全4回に拡充）

【厚生労働省「医療事故に係る適切な対応に関する研修」に該当】

拝啓　時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会事業活動につきまして、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当協会では、医療事故調査制度（以下「本制度」という。）の支援団体として、相談・支援活動を実施しております。

本制度の施行以降、医療事故の定義に関する解釈の相違等により、本来報告すべき事例が適切に報告されていない状況が指摘されています。本制度は責任追及ではなく再発防止を目的とした制度であり、その趣旨に則った自律的かつ主体的な対応は、病院および職員の皆様を守ることにもつながります。

こうした状況を踏まえ、**令和8年（2026年）4月に施行された医療法施行規則の一部改正により、病院等の管理者等に対し「医療事故に係る適切な対応に関する研修」の受講が求められることとなりました。**

当該改正を受け、本研修は**「医療事故調査制度に関する管理者等研修プログラム作成指針（令和７年度厚生労働行政推進調査事業「医療安全管理部門の専従・専任医師等の資質向上に向けた研究」研究班）」に準拠したプログラム**として刷新いたしました。**本研修を修了された方には、法令に基づき当該研修の要件を満たす修了証（受講証明書）を発行いたします。**

なお、**第1回および第2回につきましては、多数のお申込みをいただき定員に達したため、第3回および第4回を追加開催**することといたしました。

会員各位におかれましては、ご多忙の折とは存じますが、法令改正への対応および院内の医療安全体制強化の観点から、本研修へのご参加をご検討いただきますとともに、関係者のご派遣につきましてもご配慮賜りますようお願い申し上げます。

敬具

●本研修は「全日病・医法協認定 医療安全管理者」を継続認定（更新）するための研修に該当（２単位）いたします。

※「全日病・医法協認定 医療安全管理者認定証」の継続更新（更新）については、下記URL・QRコードよりをご参照ください。

【全日本病院協会ホームページ】
■全日病・医法協認定　医療安全管理者について
https://www.ajha.or.jp/seminar/yousei/

2026 年度「医療事故調査制度 適切な対応・事例検討研修会」実施要綱

1.主催	（公社）全日本病院協会
2.日時	~~第 1 回　2026 年 7 月 26 日（日）　9:30 ～ 17:00~~　（募集終了） ~~第 2 回　2026 年 9 月 5 日（土）　9:30 ～ 17:00~~　（募集終了） **第３回　2026 年 12 月 20 日（日）　9:30 ～ 17:00　【追加】** **第４回　2027 年 2 月 11 日（木・祝）9:30 ～ 17:00　【追加】** ※各回、内容は同じになります（予定）。
3.会場	全日本病院協会　大会議室（「別紙 1」会場案内図参照） 東京都千代田区神田三崎町 1 丁目 4－17　東洋ビル 11F ・JR「水道橋駅」東口　徒歩 2 分
4.プログラム	「別紙 2」プログラム参照 **【本研修について】** **※厚生労働省より示された「医療事故調査制度に関する管理者等研修プログラム作成指針（以下、「当該指針」という。）」に準拠したプログラムで構成**されております。指針において、研修時間が「病院等の管理者向け（5 時間以上）」と「管理者の判断を支援する者向け（8 時間以上）」の二段階に設定されておりますが、**本研修では、実際の医療事故対応において病院管理者と実務者が共通の認識・視点を共有することが不可欠であるとの考えから、参加者全員に同一のプログラムで受講いただきます。** **なお、全プログラムの受講をもって修了とし、途中退席された場合は修了証を発行いたしかねますので、あらかじめご了承ください。** ※本研修は、事前にWEB講義動画のご視聴および課題のご提出をいただき、当日はグループワークを中心に実施するプログラムになります。WEB動画でご視聴いただく講義は、当日講演いたしませんので、ご了承ください。 **【本研修の事前課題について】** ※本研修は、事前課題のご提出が必須になります。事前学習の WEB 講義動画をご視聴のうえ、期日までに事前課題をご提出ください。 **【医療事故調査に関するお困りのこと等について】** ※医療事故調査に関してお困りのこと等がありましたら、研修時に可能な範囲で回答させていただきますので、事前課題とあわせてお送りするアンケート用紙にてあらかじめご連絡ください。
5.参加費	会員及び会員病院職員　23,000 円（税込 25,300 円） 非会員　（上記以外）　27,000 円（税込 29,700 円） （受講料、テキスト代を含みます。） ※物価高騰等の影響により、第3・4回開催分につきましては、参加費を改定（1,000 円〔税抜〕増額）しております。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。
6.参加対象者	病院等の管理者、管理職、医療安全管理者、死亡事例の判断に携わる方など

7.定員	各回 70 名
8.申込方法 研修申込用 QR コード	①全日本病院協会ホームページ(https://www.ajha.or.jp/)より 「受付中のセミナー 一覧」を選択し、本研修の申込み画面をお開きください。 ※スマートフォンをお持ちの方は左記 QR コードよりアクセス可能です。 ※すでに定員に達している場合お申込みいただけない場合がございます。 ②研修申込み画面より必要事項を入力し、受講者情報を送信してください。 ③申込受理後、ご登録メールアドレスへ参加費のご請求書を添付した 参加確定メールが届きます。送付された案内をご確認のうえ参加費を指定期日までにお振込ください。 ※申込後、1 週間経過いたしましてもメールの返信が無い場合は、大変お手数をお掛けいたしますが、下記お問合せのメールアドレスまでご連絡ください。
9.締切日	第 3 回　2026 年 11 月 20 日（金） 第 4 回　2027 年 1 月 8 日（金） ※各回、定員に達し次第、締切となります。
10.取り消し等	登録情報や参加者の変更、キャンセルにつきましては、下記問合先のメールアドレスまでご連絡ください。 ※ご入金後の参加費返金はいたしませんのでご了承ください。 資料の発送をもってかえさせていただきます。
11.その他	◆ご宿泊、交通につきましては、各自ご手配願います。 ◆当日、受講できない場合は、必ず下記問合先までメールにてご連絡ください。 ご連絡がない場合は、自己都合による欠席として扱います。 ◆事前学習の WEB 動画視聴について、申込者以外の視聴を禁止いたします。講義の録画、録音、スクリーンショット、スライドの無断使用・転載は、禁止いたします。 ◆領収書は、事前配布のテキストと一緒に、郵送にてお送りいたします（予定）。 ◆本研修を修了された方には、「医療事故に係る適切な対応に関する研修」の要件を満たす修了証（受講証明書）を発行いたします。 ◆本研修を修了された「全日病・医法協認定 医療安全管理者」には、継続認定（更新）のための単位（2 単位）を付与いたします。単位申請のお手続きは特段不要でございます。 ◆受講者の個人情報は適切に処理し、本研修の目的以外には使用いたしません。
12.問合先	公益社団法人　全日本病院協会　事務局（事故調担当） 〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町 1-4-17　東洋ビル 11F E-mail：jikocyousa@ajha.or.jp

別紙１

「医療事故調査制度 適切な対応・事例検討研修会」会場案内図

全日本病院協会　大会議室

〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町１－４－17　東洋ビル 11Ｆ

・JR 総武線「水道橋駅」東口 徒歩２分



別紙２

2026年度
「医療事故調査制度 適切な対応・事例検討研修会」プログラム
【厚生労働省「医療事故に係る適切な対応に関する研修」に該当】

※本研修は、「医療事故調査制度に関する管理者等研修プログラム作成指針（令和７年度厚生労働行政推進調査事業「医療安全管理部門の専従・専任医師等の資質向上に向けた研究」研究班)」に準拠したプログラムになります。本研修を修了された方には、「医療事故に係る適切な対応に関する研修」の要件を満たす修了証（受講証明書）を発行いたします。

※本研修は、研修当日より前に、事前学習として WEB 講義動画をご視聴いただき、事前課題をご提出いただくプログラムになります。

◆１．事前学習（予定・一部変更の可能性あり）
※WEB 講義動画は、研修当日までに必ずご視聴ください（合計２時間)。
※事前課題は、WEB 講義動画をご視聴のうえ、期日までにご提出ください。

	内容	講師
1	講義　研修の目的	（公社）全日本病院協会　常任理事 医療安全・医療事故調査等支援担当委員会　委員長／ 医療法人済衆館　済衆館病 理事長 今村　康宏
2	講義　医療事故調査制度の概要	（公財）東京都医療保健協会 医療の質向上研究所　研究員／ 練馬総合病院 質管理部長・名誉院長 飯田　修平
3	講義　医療安全の目標 医療安全に関する施策	東邦大学医学部 名誉教授 長谷川友紀
4	講義：医師の立場から考える医療安全を支える 組織作り	小牧市民病院 副院長・脳神経外科部長 長谷川俊典
5	講義　医療安全管理者の立場から実務的な運営について	医療法人社団哺育会　白岡中央総合病院 医療安全管理課長 渡邉　幸子
6	講義　医療安全活動における事務職のかかわり】	社会医療法人恵和会　帯広中央病院 事務部長 森山　　洋
7	講義　医療事故調査制度 ― 理解しておくべき法的視点 ―	宮澤潤法律事務所　所長 宮澤　　潤
8	事前課題　死亡事例における報告事例かどうか等の判断 ― あなたならどう考える？報告対象か考えてみよう ―	

◆２．研修当日プログラム（予定・一部変更の可能性あり）

※第１回 2026 年 7 月 26 日（日）、第２回 2026 年 9 月 5 日（土）、
第３回 2026 年 12 月 20 日（日）、第４回 2027 年 2 月 11 日（木・祝）ともに同じ内容（予定）。

座長：今村 康宏（全日本病院協会 常任理事、医療安全・医療事故調査等支援担当委員会 委員長）

	開始	終了	時間数	内容	講師
1	09：30	09：35	5 分	開会挨拶	（公社）全日本病院協会
2	09：35	09：40	5 分	講師紹介	
3	09：40	09：55	15 分	事前学習の WEB 動画（講義）に関する質疑 ※事前にご視聴いただく以下 WEB 動画等について、ご不明な点等をご質問ください。できる限り回答いたします。 1. 医療事故調査制度の概要 2. 医療安全の目標　医療安全に関する施策 3. 医師の立場から考える医療安全を支える組織作り 4. 医療安全管理者の立場から実務的な運営について 5. 医療安全活動における事務職のかかわり 6. 医療事故調査制度 ― 理解しておくべき法的視点 ―	（公財）東京都医療保健協会 医療の質向上研究所　研究員／ 練馬総合病院 質管理部長・名誉院長 飯田　修平 東邦大学医学部 名誉教授 長谷川友紀 小牧市民病院 副院長・脳神経外科部長 長谷川俊典 医療法人社団哺育会　白岡中央総合病院 医療安全管理課長 渡邉　幸子 社会医療法人恵和会　帯広中央病院 事務部長 森山　洋 宮澤潤法律事務所　所長 宮澤　潤
4	09：55	10：10	15 分	講義　医療事故に対する適切な準備と事後対応	（再掲のため所属先省略）　飯田　修平
5	10：10	11：10	60 分	GW１　事故調査の考え方／方法の検討 ― 院内事故調査で迷わないための「心構え」と「外してはいけないポイント」を整理してみよう ―	
6	11：10	11：20	10 分	休憩	
7	11：20	12：20	60 分	GW１　発表	
8	12：20	12：50	30 分	講義　事故発生時の初動対応等について（患者・家族、マスコミ対応等含む）【仮】	東邦大学 医学部 臨床支援室 医療安全管理部門 准教授 藤田　茂
9	12：50	13：40	50 分	昼食休憩（昼食のお弁当・お茶をご用意いたします。）	
10	13：40	14：40	60 分	GW２　死亡事例における報告事例かどうかの判断 ― この死亡事例は報告対象？みんなで考えよう ―	
11	14：40	14：50	10 分	休憩	
12	14：50	15：50	60 分	GW２　発表	
13	15：50	16：45	55 分	総合討議・質疑 ※「総合討議・質疑」時間を利用し、事前にいただく医療事故調査に関するご相談について可能な範囲で回答させていただきます。	（再掲のため所属先省略）　飯田　修平 長谷川友紀 長谷川俊典 藤田　茂 渡邉　幸子 森山　洋 宮澤　潤
14	16：45	16：55	10 分	まとめ（修了証配布含む）	
15	16：55	17：00	5 分	閉会挨拶	（公社）全日本病院協会